

# 第11回 青梅市公共交通協議会

## 居住者MMについて

平成25年11月15日



今年度の業務計画に基づき、居住者に対するMM(モビリティ・マネジメント)について、次年度の実施計画の検討を行う。

MMの定義(モビリティ・マネジメントの手引き/土木学会)

ひとり一人のモビリティ(移動)が、社会的にも個人的にも望ましい方向<sup>注)</sup>に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策

注：例えば、過度な自動車利用から公共交通・自転車等を適切に利用する方向

### 1. 居住者MMのねらい

公共交通の利用が著しく低迷している地域において、今後の維持存続のための利用促進に向けて、特定路線沿線住民の問題認識共有や意識改革をねらいとして実施する。

【居住者MMのねらい】

- ・地域の公共交通の維持・存続について、地域住民ひとり一人が関心を持ち、自分たちで考えていくためのきっかけづくり
- ・地域公共交通の利用について、ひとり一人の行動の変化を促す
- ・地域公共交通に対する今後の意向の把握

### 2. 実施方法

#### (1)対象地区

公共交通の利用が低迷し、今後のバス路線の存続に向けて早急に対応を考えていく必要がある地域として、成木地区(梅74・梅76沿線地域)を対象にMMを実施する。

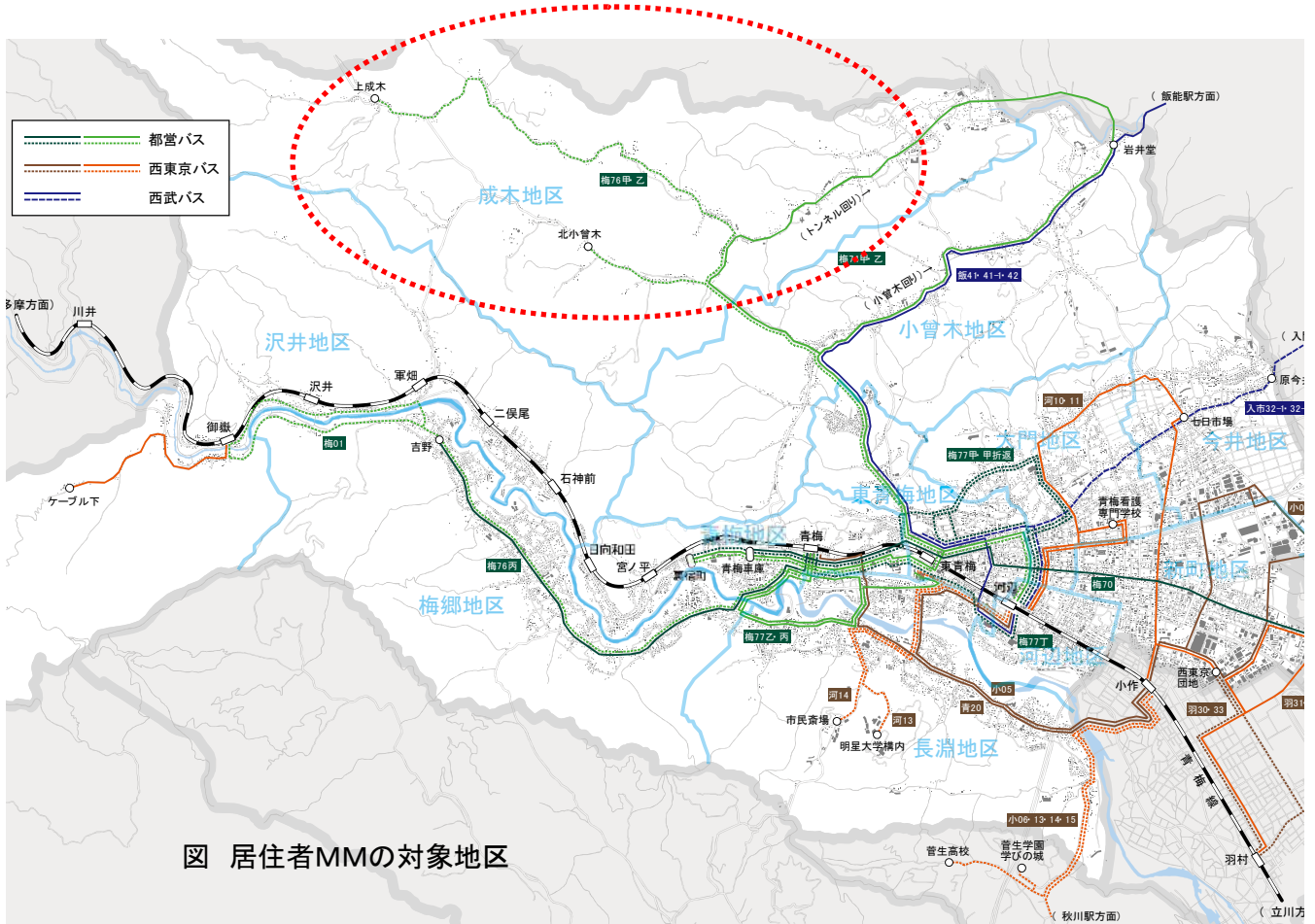


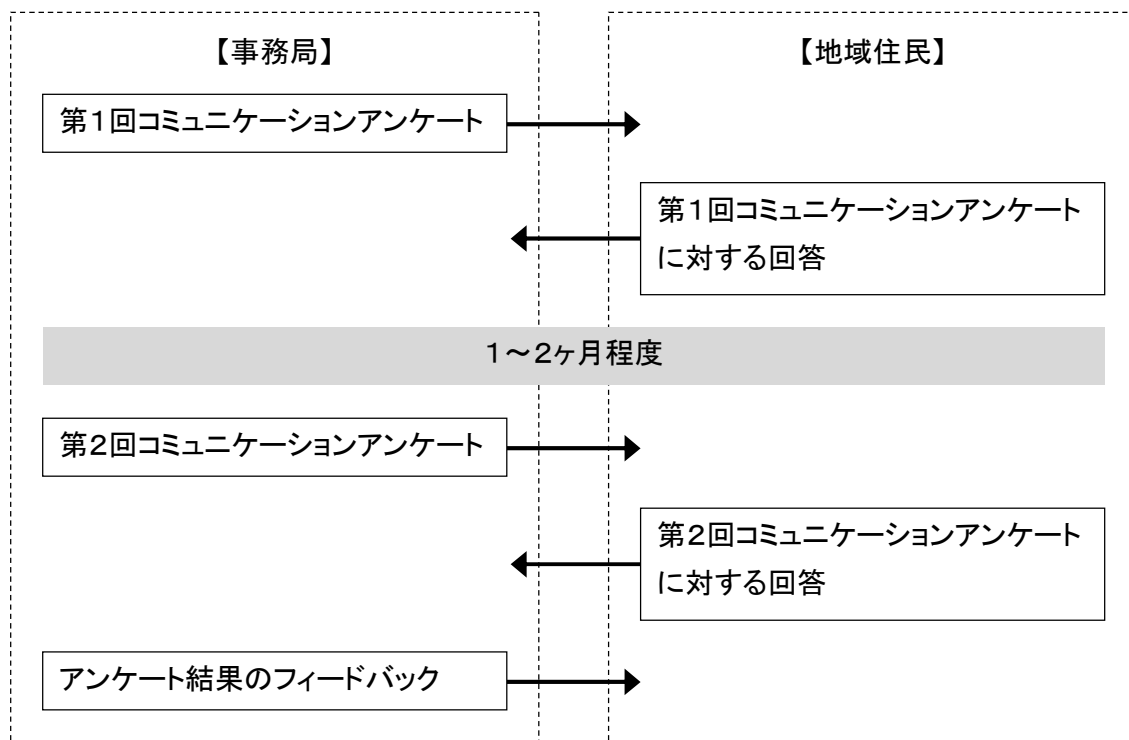
図 居住者MMの対象地区

## (2)対象者

成木地区の全世帯を対象とする。(1,107世帯、2,138人、平成25年10月1日現在)

## (3)実施方法

以下の3回にわたるコミュニケーションを、郵送配布・郵送回収により実施する。



## 3. 実施内容

### (1)第1回コミュニケーションアンケート

成木地区住民との問題認識共有や意識改革・行動変化の促進をねらいとして、以下の情報提供とコミュニケーションアンケートを実施する。

#### ①配布物

- ・あいさつ状
- ・動機づけ情報
- ・成木地区公共交通案内
- ・アンケート

#### ②動機付け情報の内容

- ・梅74・梅76の経営状況(利用者数や収入、経費、赤字額)
- ・持続するための利用の必要性
- ・その他公共交通の利点(環境、健康、事故)

#### ③成木地区交通案内の内容

- ・バス停の位置、時刻表、路線図、運賃、利用方法 など

#### ④アンケートの内容

- ・個人属性、普段の交通行動
- ・梅74・梅76の存在を知っているか、これまでの利用状況はどの程度か
- ・梅74・梅76の経営状況について理解してもらえたか
- ・梅74・梅76を今後積極的に利用してみる気持ちはあるか
- ・梅74・梅76の利用について、実際に自分ができそうな行動プラン
- ・今後の成木地区の公共交通維持・存続に対する意向

#### (2)第2回コミュニケーションアンケート

第1回アンケートの実施効果把握と、実施結果を共有するため、以下の情報提供とコミュニケーションアンケートを実施する。

##### ①配布物

- ・あいさつ状
- ・第1回アンケートの結果概要
- ・アンケート

##### ②アンケートの内容

- ・個人属性、第1回アンケートへの回答歴
- ・第1回アンケート後、梅74・梅76の利用に対する意識は変化したか
- ・第1回アンケート後、梅74・梅76の利用状況は変化したか
- ・梅74・梅76の利用に関する行動プランを実践したか
- ・今後の成木地区の公共交通維持・存続に対する意向

#### (3)アンケート結果のフィードバック

第1～2回アンケートの実施結果を共有し、アンケート協力へのお礼と今後の利用促進への協力をお願いするため、以下の情報提供を実施する。

##### ①配布物

- ・あいさつ状
- ・第1～2回アンケートの結果概要